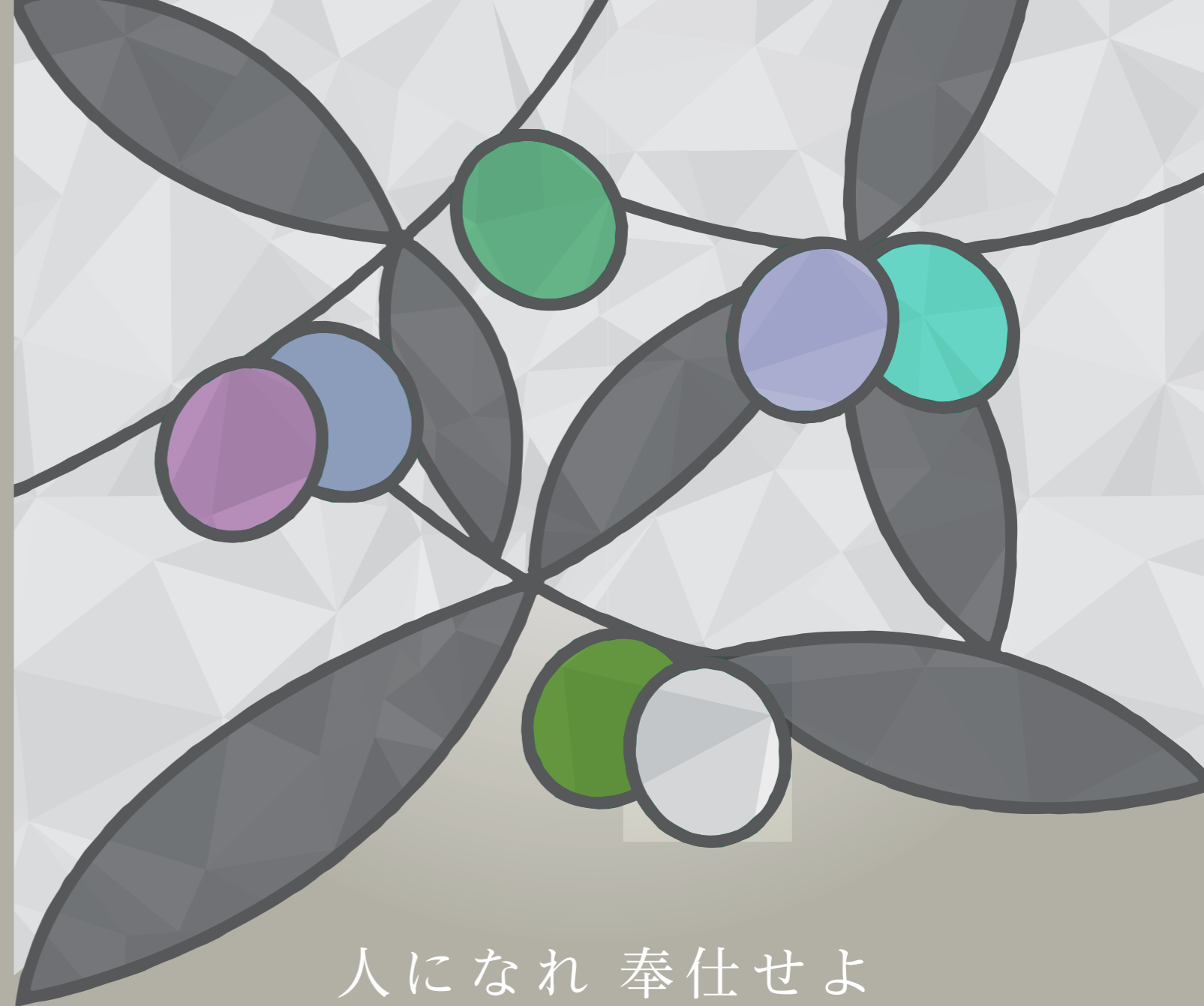


● 学校法人関東学院	045-786-7028 (代)	〒236-8501	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
● 関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス	045-781-2001 (代)	〒236-8501	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
● 関東学院大学 横浜・金沢文庫キャンパス	045-786-7179 (代)	〒236-8502	神奈川県横浜市金沢区金利谷南 3-22-1
● 関東学院大学 湘南・小田原キャンパス (国際研究研修センター)	0465-32-2600 (代)	〒250-0042	神奈川県小田原市荻窪 1162-2
● 関東学院中学校高等学校	045-231-1001	〒232-0002	神奈川県横浜市南区三春台 4
● 関東学院六浦中学校・高等学校	045-781-2525	〒236-8504	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
● 関東学院小学校	045-241-2634	〒232-0002	神奈川県横浜市南区三春台 4
● 関東学院六浦小学校	045-701-8285	〒236-0037	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
● 関東学院六浦こども園	045-781-0170	〒236-8503	神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
● 関東学院のびのびのば園	045-845-0876	〒234-0056	神奈川県横浜市港南区野庭町 617-2
● KGU 関内メディアセンター	045-650-1131	〒231-0011	神奈川県横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター 8F



人になれ 奉仕せよ  
を实践する、7つの学び舎。



KANTO GAKUIN  
関東学院

- 関東学院のびのびのば園 ● 関東学院六浦こども園
- 関東学院小学校 ● 関東学院六浦小学校
- 関東学院中学校高等学校 ● 関東学院六浦中学校・高等学校 ● 関東学院大学



# 人になれ 奉仕せよ

これは、関東学院の校訓であり、初代院長 坂田祐が第1期生の入学式で述べた言葉です。キリスト教の精神にもとづき、生涯をかけて教養を培う人間形成に努め、人のため、社会のため、人類のために尽くすことを通して己の人格を磨く、というこの関東学院の教育方針は、長年にわたって継承されてきました。

## 関東学院 理事長メッセージ

学院全体の方向性を示すために、「グランドデザイン」を制定。



関東学院 理事長  
増田 日出雄

「関東学院は、キリスト教の精神にもとづいて豊かな人間性を培い、質の高い教育で創造的知力と健全な身体を育むことにより、他者を思いやる愛をもって21世紀共生社会に貢献し得る青少年・社会人を育成する」これは、こども園から大学まで7つの学校全てに共通した学院の「目的と使命」です。この目的と使命は、学院の方向性を全教職員で共有するために作成した「グランドデザイン」によるものです。そのベースには、校訓である「人になれ奉仕せよ」の理念が息づいています。そして、目的と使命を実践するために、各校ごとに教育理念、教育目標等を制定しました。さらに、「グランドデザイン」を確実に具現化するために、数値目標、ロードマップ、実施者など具体的な行動計画である「未来ビジョン」を各校ごとに策定し、現在様々な取り組みを行っています。1884年に創設されて以来、奉仕の精神を核として人格形成を行ってきた関東学院では、今も徳育を大切にしながら小さな子どもから学生までを教育しています。

## 関東学院 学院長メッセージ

「人になれ 奉仕せよ」の校訓のもと、真の人間を育成。



関東学院 学院長  
小河 陽

私たち関東学院にとって、教育の基本となるのはキリスト教の精神に基づく人間教育です。校訓「人になれ 奉仕せよ」は、他者に奉仕することで真の人間になれる、ということを意味しています。校訓は、学んだ知識や技術で世の中のために何ができるかを自ら考えることも促しています。今、国境を越えてお金や物が動いています。しかし、グローバルな社会で本当に大切なことは、人のつながりです。そこでは自分と異なるものを受け入れる寛容性が必要になります。学院ではキリスト教精神のもと、多様な他者と共生できる人材を育成しています。さらに、こども園から大学までを擁する総合学園の強みを生かして、個々の学校の独自性を大切にしながら、単独の学校ではできない有機的な連携教育を推進しています。今後、この連携をさらに強めるために連携教育センターの設立も進めています。変化の激しい今だからこそ、私たちの役割は学院で学ぶ全ての人に自身の存在自体に価値があることを教示することだと考えています。

## 一貫連携教育

関東学院は、2つのこども園、2つの小学校、2つの中学校高等学校、そして大学を擁する総合学園です。園児・児童・生徒・学生の総数は約1万5千名に達し、それぞれの段階において、年齢や学力に応じた教育目標を定め、各人の可能性を伸ばすことを目指しています。学院長を議長に、学院各校の学校長により構成される校長会議および学院宗教主任会議を定期的に行い、一貫教育とキリスト教教育を審議し、創立記念行事、クリスマス行事、教員合同研修会など、総合学園としての特色を発揮できる行事を通して、こども園から大学までの連携を推進し、一貫連携教育体制の充実を図っています。



関東学院のびのびのぼ園



関東学院六浦こども園



関東学院小学校



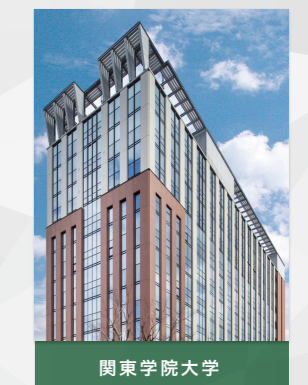
関東学院六浦小学校



関東学院中学校高等学校



関東学院六浦中学校・高等学校



関東学院大学



# 関東学院のびのびのば園

## ■ 保育理念

キリスト教の精神を柱に、自分が神様から愛されているかけがえのない存在である事を知り、自分と周りにいる友だちのありのままを認め合い、大切にしながら生活づくりをしていきます。



## ■ 特色

やってみよう

自分でやってみようとする主体的な気持ちを大切に、子どもが自立していく可能性に寄り添います。

表現しよう

友だちとの生活や遊びや対話を通して、様々な事象や環境に興味を持ち、考えながら工夫して表現する楽しさを広げます。

大切にしよう

自分の気持ちや考えを大切に、友だちとの関わりを深める中でお互いの違いを認め合い、思いやる心を育てます。

### 井上 恵子 園長

のびのびのば園は、「夢と希望と愛に満ちたこども園」を目指しています。キリスト教教育を基軸に地域の保育・教育を担う施設として、子どもたちが友だちと一緒に過ごすなかで、互いを大切にしようという価値や喜びを知り、人生で最も大切な「愛」が伝えられるようにと願っています。



# 関東学院六浦こども園

## ■ 保育理念

神様に創られた大切な一人として愛されていることを知り、人を信じる力を育み、他者と共に生きていく力を養います。



## ■ 特色

実習生の受け入れ

教育実習生（関東学院大学教育学部・栄養学部・看護学部）1クラス1～2名が参加します。日常的に学生ボランティアが参加しています。

研究実践発表の場

大学教員の研究協力とゼミの研究実践・発表等を受け入れています。

にんにん文庫

関東学院大学教育学部の蔵書の貸し出しを行っています。また、学生による読み聞かせの会も行っています。

英語で遊ぼう

英語で讃美歌を歌ったり、絵本を見たり、簡単なやりとりやゲームを楽しんでいます。年長組は学院で行われる関東学院六浦英語フェスティバルにも参加します。

### 根津 美英子 園長

関東学院六浦こども園は、「神様に託された子どもたち一人ひとりを受け止められる環境のもと、アートを取り込んだ質の高い保育・教育を行い、子どもも大人も育まれるこども園」を目指しています。子どもたちにとっては、遊び=学びです。アートも同様で、子ども自身の心を動かすことで主体性も育みます。



# 関東学院小学校

## ■ 教育理念

校 訓 「人になれ 奉仕せよ」

教育目標 「人になれ 奉仕せよ」を体現する子を育てる。  
「夢を実現する学力」を身につけた子を育てる。  
「自分で考え、判断し、行動しようとする子」を育てる。



## ■ 特色

本に親しむ

朝読書、おはなし会、ブックフェア、関東学院小学校の100冊などに親しむ読書活動を幅広く行っています。ピブリオバトルには教員も参加しています。

ICT教育

iPadや電子黒板、デジタル教科書等を活用したICT教育を行っています。ICT機器を表現のツールとして用い、プレゼンテーション力の育成にも取り組んでいます。

総合的な学力形成

独自のカリキュラムにより、授業、テスト、補習・講習と家庭学習を連動させ、学びの基礎となる力や生活習慣を育てながら、総合的な学力形成を目指しています。

社会のしくみを学ぶ

卒業生や横浜市や神奈川県など地域とのつながりを生かした出前授業・校外学習を行っており、ときにはスペシャルゲストをお招きした授業もあります。

奉仕活動の実践

SG(サービスグループ)の活動：草創期よりSGと呼ばれる組織があり「一日奉仕活動を進んで行う」という活動を毎日行っています。活動を通して子どもたちは、自分のことだけではなく、みんなのためになることを自分で見つけ、力を尽くす喜びを覚えます。惜しみなく積極的に奉仕するという心を育みます。

### 岡崎 一実 校長

関東学院小学校はキリスト教にもとづく人間教育を理念とし、校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと3つの教育目標にむかってあゆんでいる「夢を育む学校」です。この一文に込められた小学校の姿が、礼拝堂をつつむ祈りと賛美の歌声に、教室にあふれる学びの熱意に表れ、子どもたちの笑顔とそれを見守る教職員にも示されています。特色ある教育プログラムと豊かな教育環境の中で夢に向かって21世紀を生きていく子どもたちを育みたいと願っています。



# 関東学院六浦小学校

## ■ 教育理念

校 訓 「人になれ 奉仕せよ」

生活綱領 自分で考え、進んで実行。  
強くきこえる心とからだ。  
自分にきびしく、人には親切。



## ■ 特色

- 「喜びを分かち合う」を教育目標として学習活動を展開しています。
- 半世紀ぶりに成績表を復活させ、教師と児童と保護者の3者が学びの成果を共有することを通して、確かな学力を身につけています。

体験学習

近隣の自然環境を生かした体験学習や郊外の大自然の中で宿泊学習を行う自然学校を1年生から行い、自然の中にある神様の豊かな恵みを実感し、感謝する心を育み、体験を振り返り、学習化することで、友達との豊かな人間関係を形成していきます。

全学年での交流

児童会・児童委員会の活動や学年の縦割り交流を通して主体性と自主性を育てています。特別クラブでは全国大会や神奈川県私立小学校の大会に積極的に参加しています。

学院内連携

六浦こども園、六浦中高、関東学院大学と隣接している立地を生かして、専門性の高い教育活動における学院連携を深めています。

国際理解

「タイ訪問団」として、希望する児童・保護者と本校教員がタイのカレン族の村を訪れ、村の寮で寝食を共にする心と物の交流プログラムを10年以上続けて実施しています。

### 澤 章敏 校長

関東学院六浦小学校が目指すのは、「共生・共創の心を持つ児童を育む学校」です。キリスト教の精神を土台とした教育を通して、子どもたち自身が愛されていることを実感するなかで、自己と隣人を大切に、平和な世界をつくり出す心を育てています。さらに主体性や思考力・判断力・表現力を育むための新聞作りやアドベンチャープログラムなど、特色ある教育を実践しています。







## 教育理念

「人になれ 奉仕せよ」の校訓のもと、建学の精神である聖書の教えを体現する使命感を育むことを目的に、礼拝と聖書の授業を行います。同時に、多文化共生社会に貢献する人となるための学びの場を得ることを目的に、教科学習とポートフォリオづくりの進学準備教育を行います。



## 特色

### キリスト教教育

アメリカ・バプテスト派宣教師が設立した神学校が源流です。プロテスタントの信仰のもと、この三春台の丘で100年にわたる教育活動を展開しています。

### グローバル社会に対応

優れた国際感覚とコミュニケーション能力、科学に対する洞察力は、グローバル社会では必須の能力となります。対面型の語学指導や体験型の海外研修、科学の本質を体得する理科の実験を用意しています。

### 確かな学力と向上心

実社会で活躍するために必要な学力と能力を身につけるために、国内外を問わず高等教育機関で学ぶことが求められます。正課だけでなく課外活動にも、進学を可能にする様々な取り組みがあります。

### 大会やコンクール参加

国内だけでなく国際的な大会やコンクールに参加・出場する生徒を応援します。多くの方々から評価される生徒のパフォーマンスを広く世間に伝えていきたいと考えています。

## 富山隆 校長

「人と人が直接つながる機会を通じて、多文化共生社会の構成員としての自覚と資質を有する生徒を育成する学校」です。時代によって変わる国の施策や価値観の中で、キリスト教に根ざした普遍的な考え方、生きるうえでの物差しを身につけるために、他者とともに生きる力、知恵を持って歩む力を養っています。



## 教育理念

キリストの教えに立つ校訓の「人になれ 奉仕せよ」を掲げ、聖書にもとづき、「ともに励まし合う人」「社会に奉仕する人」「平和を尊重する人」を育てる教育を目指しています。



## 特色

### キリスト教教育

一人ひとりが神によって使命を与えられた大切な人であると常に語られています。誰もが弱さを持っていることを知らされます。「自分を愛するように隣人を愛する」ことの大切さの学びとして、数々のボランティア・プログラムにもキリスト教教育が具体化して展開されています。

### 英語教育

英語は教科ではなく、生きる力です。中学では特に初期学習として大切な、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく育成します。KGMメソッドとして、ICT環境を駆使した CLIL (Contents and Language Integrated Learning) を取り入れた授業方法と教材で展開しています。

### グローバル人材育成カリキュラム

日ごろの学びや活動、興味・関心に関連する研修プログラムを、成熟度や適性、興味関心によって学齢を超えて選べるように、国外では7か国、13コースを用意しています。

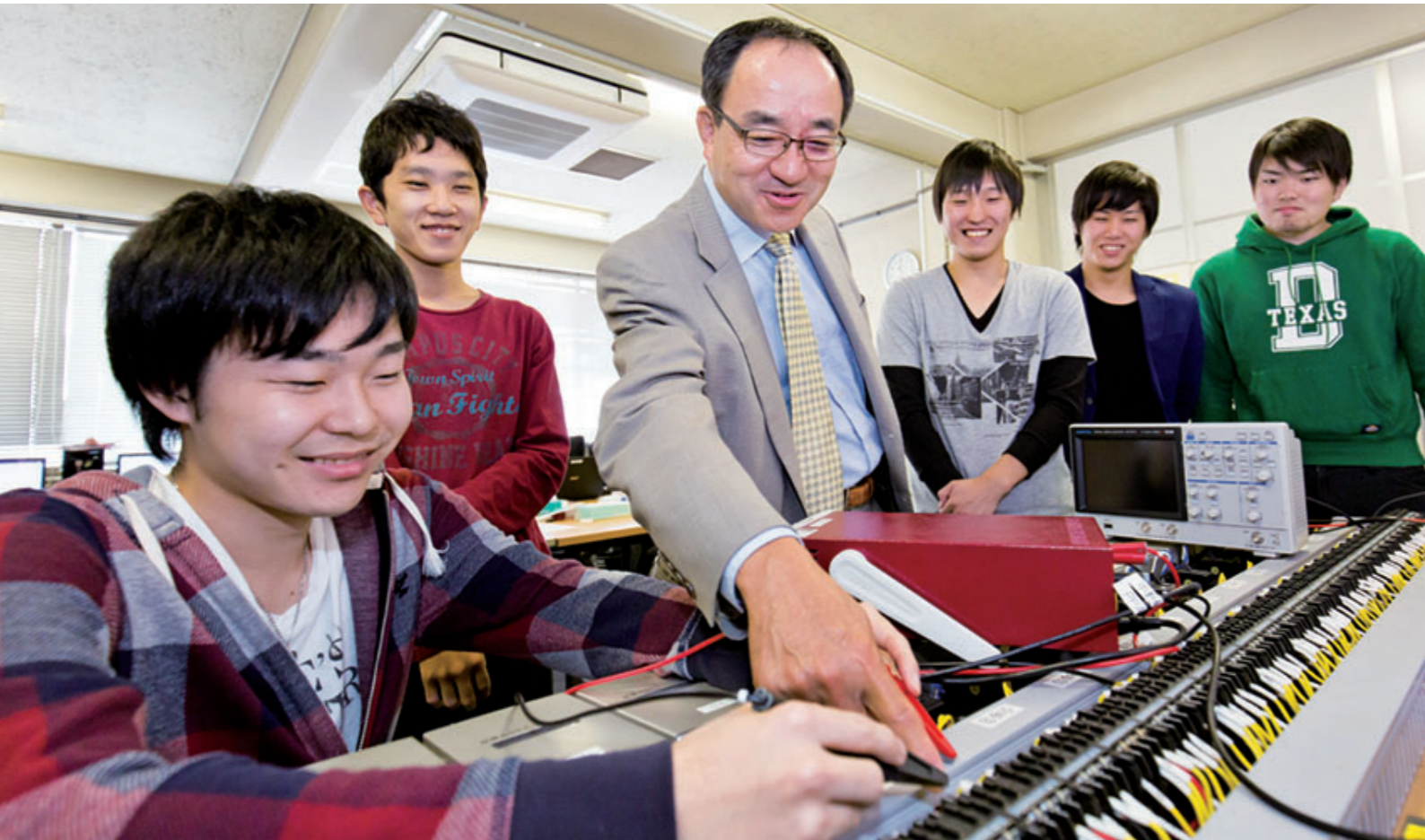
## 黒畑 勝男 校長

関東学院六浦中学校・高等学校は、2014年度よりグローバル化・ボーダーレス化の進む社会でたくましく生きるための力を育てる教育を推進しています。大切にしているのは、確かな基礎学力の確立と「気づき」と「経験」による動機づけの教育です。中学校の総合学習の学校設定科目「地球市民」で、現代の世界の文化や現状、社会の課題などをアクティブ・ラーニング的な手法で学びます。感性が柔軟な若いうちに、興味や成熟度に合わせた実学的な体験ができる多彩な研修に参加できます。10、20年後を見据え、学びを支えるコミュニケーション・ツールとしての英語力を最新の教授法で習得していきます。





# 関東学院大学



## 教育理念

関東学院大学の建学の精神は、キリスト教の精神にあります。これは、キリスト教の精神（創造主への畏敬、無償の愛、対等な尊厳を有する存在としての他者の受容）にもとづき、地球上の多様な生命への慈しみと敬虔、森羅万象に対する寛容と慈愛、それらの徳目を基本とした姿勢のもとで、他者を理解し共感することを可能とするための広く深い教養を修得し、他者のために行動できる奉仕の精神を涵養することを意味します。さらに、キリスト教の視点を通した西洋文明や文化の理解と敬意を、

日本の伝統や文化の理解と敬意によって複眼的視点から統合させます。多言語、多文化、多宗教、多人種といった中での自己の確立と共生のための教養を身につけ、この教養を礎に、人のため、社会のため、ひいては世界人類のための思考と行動とを循環させる営為を通して、次世代の社会を他者と共に創り上げる知識と智恵と行動する力を習得し鍛錬することを目指します。

### 規矩大義 学長

関東学院大学では、教育・研究機関としての真理探究に加え、キリスト教の精神にもとづき、寛容と協調の心溢れる人材を育成しています。「人になれ 奉仕せよ」という校訓が示すように、学生には「人と社会の幸福に貢献する人」になって欲しいと願っています。そのためには、自分は何がしたいのかを思考し、何ができるのかを自覚し、目標を持って学び続けることが重要です。そしてその道筋を照らす教育を行うことが大学の役目だと思っています。さらに本学では、自治体や

企業などと「社会連携」した数多くの取り組みを実施しています。学生は、在学中に社会が抱える様々な課題に取り組むことで、マニュアル通りではなく、多くの人を相手に、苦勞しながら問題を解決することを体験します。学生たちには、こうした経験を通して、自分のスキルを磨き知識を増やすことが、結果として社会に役立つことにつながっていると気づいてもらいたいと考えています。



## 特色

### 宗教教育

横浜山手に1884年創設された横浜バプテスト神学校を源流とする歴史と伝統のある大学です。キリスト教を建学の精神とする関東学院大学には、坂田祐（関東学院初代院長）の説いた校訓「人になれ 奉仕せよ」が受け継がれています。それは、「キリストの教訓をもって人たるの人格をみがき、キリストの愛の精神をもって奉仕すること」を意味しています。宗教教育センターは、

キリスト教教育ならびにキリスト教活動を行っています。礼拝やチャペルコンサートへの参加、チャプレン（キリスト教教育と活動に関わる宗教主事）との交わりなどから、学生のキャンパスライフがより豊かな、充実したものになるよう願っています。

### キャリア教育

自分の将来や生き方を知るために「KGUキャリアデザイン入門」を始めとした体系的なキャリア教育プログラムを1年次より正課教育として用意しています。このプログラムの中では、自分自身を知ることや、ゲストとして招いた卒業生の体験談を聞くことで、将来の進路に対する意識を高めます。また、希望する進路の実現に向けて、1年次から総合的なサポートを実施していきます。特に3年次からは、就職活動に必要な力を身につけるための就職支援プログラムを実施します。就職活動

全体の概要を知るための「就職ガイダンス」や、企業の選び方や情報収集の仕方を学ぶための「各種講座」、実社会での就業を体験する「インターンシップ制度」、そして各企業の人事担当者を招いた「学内企業説明会」を用意しています。また、個別の就職相談では、履歴書やエントリーシートの書き方、さらには模擬面接など、一人ひとりの学生に合わせた支援を実施しています。

### 社会連携教育

自治体や企業、地域と連携しながら実践的な教育を実施しています。社会に実際に存在する様々な問題に對峙し、自治体や企業の人々をはじめ有識者や高校教諭と議論を深めながら問題の解決に取り組むことで、社会に出て即戦力として役立つ能力を養成しています。



### IT教育

新しい時代に対応した情報設備や教育カリキュラムの整備を進めています。情報社会に求められる時代のニーズに答えるべく、教育・研究におけるICT活用を推進し、高度で広範囲であるとともに、ユーザビリティの高い情報処理環境の充実に取り組んでいます。また、学修や研究に必要なICT活用能力を身につけられるよう、さらに卒業後に社会人として必要な情報リテラシーを身につけられるよう、様々な指導を行っています。



### 神奈川を学ぶ

地域との連携を強化するとともに、各学部で地域、企業、自治体などとの連携による社会をフィールドとした学びの充実に取り組んでいます。実践的な学びを進める上で、「地域」を知り、学びのフィールドとなる神奈川県の特徴を理解するため、全学共通科目として「かながわ学」を9科目開講しています。地域企業や自治体、地元プロスポーツ選手など、各分野の専門家や実務家を講師に招いた「現場」の視点を重視した科目群から、自分の興味・関心、専門分野に合わせて学ぶことができます。



### 学びの広がり

総合大学のメリットを生かし、興味のあることを学部の枠を超えて学ぶことができる「他学部受講制度」や、他学部の科目を体系的に学ぶことができる「副専攻制度」があります。また、横浜市内の国公私立11大学と協定を結んでおり、各大学の授業科目を履修・単位互換をすることができます。

## 学部・学科構成研究機関

学部 学科			大学院	研究所
国際文化学部 ● 英語文化学科 ● 比較文化学科	理工学部 ● 生命科学コース ● 数理・物理コース ● 応用化学コース ● 健康・スポーツ計測コース	建築・環境学部 ● 建築・環境学科 人間共生学部 ● コミュニケーション学科 ● 共生デザイン学科	文学研究科 経済学研究科 法学研究科 工学研究科 看護学研究科	キリスト教と文化研究所 大沢記念建築設備工学研究所 材料・表面工学研究所 人文科学研究所 経済経営研究所 法学研究所 工学総合研究所 人間環境研究所 看護学研究所
社会学部 ● 現代社会学科	法学部 ● 法学科 ● 地域創生学科	教育学部 ● こども発達学科		
経済学部 ● 経済学科	経済学部 ● 電気・電子コース ● 情報ネット・メディアコース	栄養学部 ● 管理栄養学科		
経営学部 ● 経営学科	経営学部 ● 土木・都市防災コース	看護学部 ● 看護学科		



関東学院大学

1884年 創立

学部 **10,725**人 大学院 **153**人 科目等履修生 **61**人

修士号取得者数 **39**人 博士号取得者数 **7**人 学士号取得者数 **2,219**人

職員数 **389**人 教員数 **1,253**人 外国人教員数 **66**人 博士号取得教員数 **176**人  
(専任、助手、非常勤講師) (大学院含) (大学院含)

同窓会会員数 **114,031**人

図書館



蔵書 **1,420,892**冊

入館者数(年間) **333,660**人

貸出冊数 **54,555**冊

大学内パソコン設置数 **2,003**台

就職関係

進学率 / 業種別就職者数

就職者数(学部) **1,801**人

- 営業職・企画職 **610**人
- 事務職 **99**人
- 販売職・接客職 **317**人
- 技術職 **298**人
- SE職・PG職 **104**人
- 福祉職 **46**人
- 地方公務員行政職 **9**人
- 地方公務員警察官 **28**人
- 地方公務員消防官 **3**人
- 自衛官 **4**人

- 中学・高等学校教諭 **16**人
- 小学校教諭 **17**人
- 幼稚園教諭(公務員) **1**人
- 幼稚園教諭(民間) **20**人
- その他の教諭 **9**人
- 保育士(公務員) **7**人
- 保育士(民間) **37**人
- 管理栄養士(民間) **28**人
- 栄養士(公務員) **1**人
- 栄養士(民間) **22**人
- 指導員 **1**人
- その他の専門職 **14**人
- その他職種 **45**人
- 未定 **65**人

就職ガイダンス/イベント回数 **197**件 学内企業説明会・面接会参加企業数 **818**社

就職・キャリア個別相談件数 **9,055**件 インターンシップ受入れ企業数 **158**社

留学関係

留学・語学研修者数 **67**人 留 学 23人 語学研修 44人

受入れ留学生数 **10**カ国 **82**人

留学先国数 **13**カ国 **16**大学

社会連携関係

公開講座数 / 受講者数 **59**講座 **1,421**人

特許権実施等件数 **406**件(継続含む) 特許権実施等収入額 **14,560,000**円  
私立大学1位/全国7位 私立大学5位/全国28位

産官学連携事業件数 **109**件

その他

事業活動収入 **18,956,862,000**円

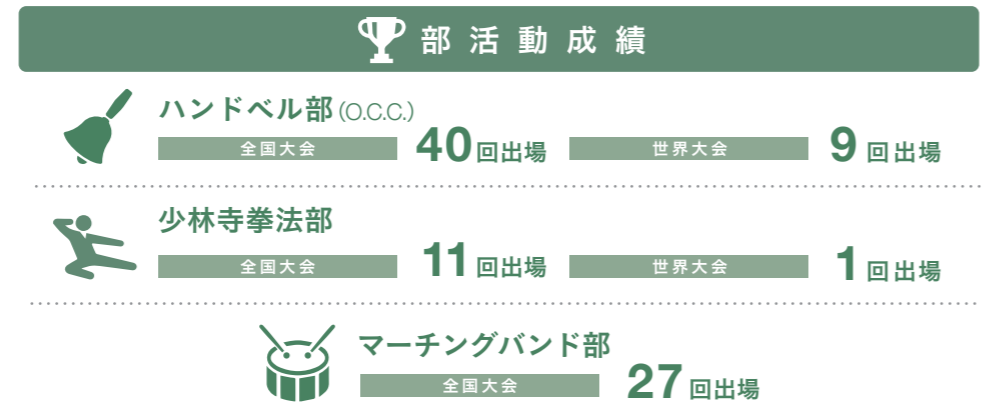
科学研究費採択状況 **83,980,972**円

面積  
建物設備

面積合計  
 ● 金沢八景 - **84,515**㎡  
 ● 金沢文庫 - **150,963**㎡  
 ● 小田原 - **123,153**㎡  
 ● 関内 - **919**㎡  
 附属研究所及び施設 **10**



## 関東学院 中学校高等学校



## 関東学院六浦 中学校・高等学校



## 関東学院小学校



## 関東学院 六浦小学校



## 関東学院 六浦こども園



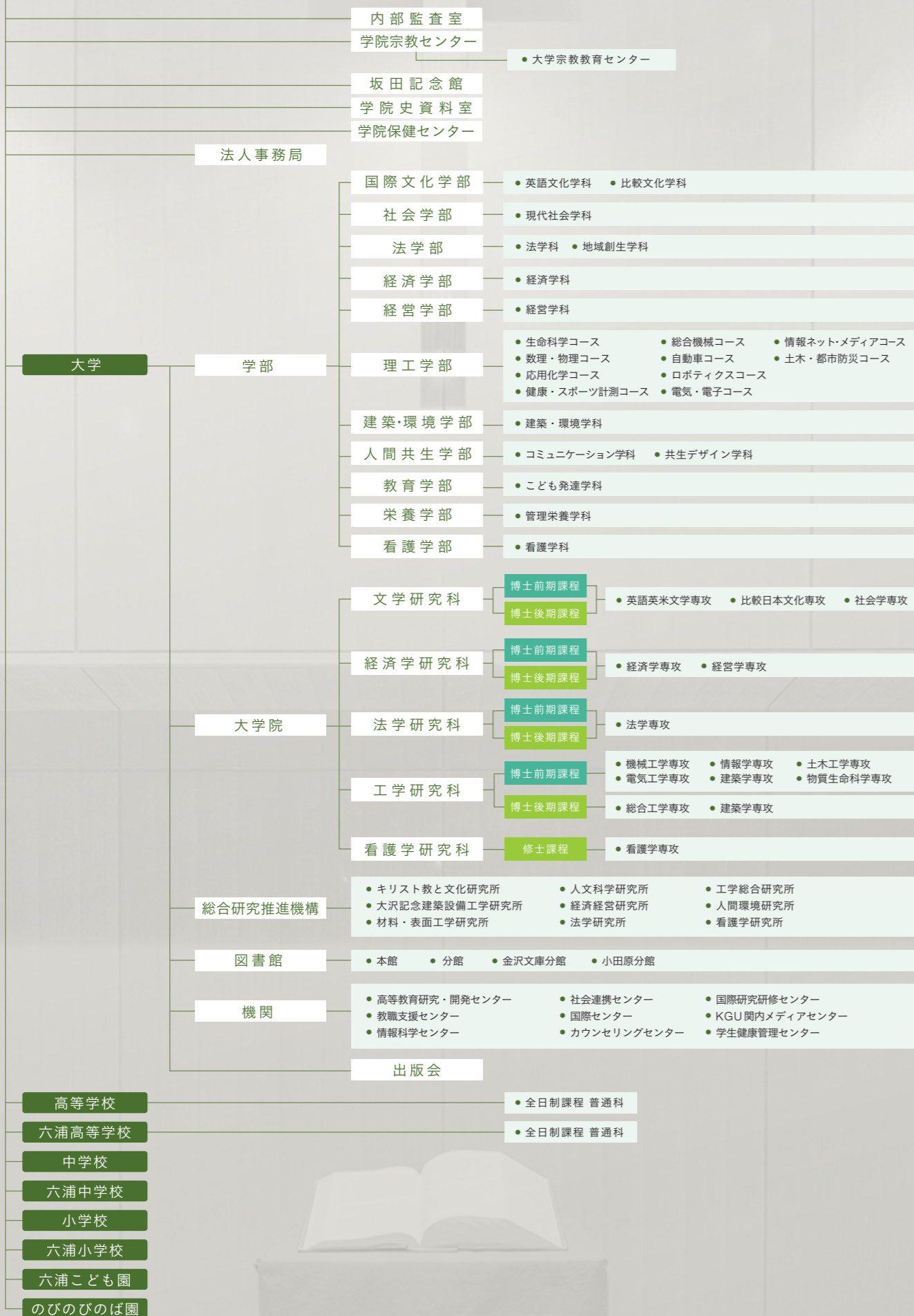
## 関東学院 のびのびのば園





# 教育・研究組織図

学校法人 関東学院



## KANTO GAKUIN LOGO

## 新ロゴマーク紹介

関東学院では、こども園、小学校、中学校、高等学校、大学を含めた学院のロゴマークを新しく作成しました。このロゴマークは、関東学院を象徴する色であるオリーブグリーンを基調としながら、創立の地である横浜・神奈川の海をイメージしたブルーを組み合わせたデザインになっています。下段には波をかたどった文様を配置。そして、7枚のオリーブの葉は、こども園、小学校、中学校、高等学校、大学までの全7校を表しています。制作にあたり、最も重視したコンセプトは「世代を超えて愛されるシンボル」であることです。創立150周年を迎える2034年、そしてその先もずっと、関東学院が標榜するキリスト教教育の普遍的な価値が変わることなく、受け継がれていってほしい。それが学校法人関東学院としての、一つのミッションだからです。そのためには幅広い世代に愛されていくものにしたいと考えました。子どもたちや学生が社会に出て、このマークを見た時、学院で培った精神的なバックボーンを思い出してくれたなら、それが私たちの教育の最大の成果と言えるでしょう。

関東学院 常務理事 望月 正光